

航空保安大学校での研修カリキュラム

各研修課程において、「コンプライアンス」、「航空テロ」、「情報伝達」等のカリキュラムを新たに構築

○航空管制官基礎研修課程（入省後に実施される1年間の基礎研修）

- ・「コンプライアンス」…公務員倫理規定、具体的な違反事案、職業倫理に係る討議
 - ・「航空テロ」…管制施設での保安対策
- （平成23年4月採用者の基礎研修から実施）

○初級航空管制官特別研修（入省6年未満の航空管制官全員を対象）

- ・「コンプライアンス」…具体的なコンプライアンスに反する行為を例証
 - ・「航空テロ」…管制業務に関連するテロに関する教育研修
- （平成24年1月～）

○中級航空管制官特別研修（主幹航空管制官候補（入省12年以上））

- ・「コンプライアンス」…コンプライアンスに関する事例研究、討議
 - ・「航空テロ」…航空局で実施されている具体的な保安対策
- （平成24年2月～）

○上級航空管制官特別研修（次席航空管制官候補）

- ・「コンプライアンス」…公務員倫理規定と職員管理について
 - ・「航空テロ」…航空局で実施されている具体的な保安対策と管理職としての対応
 - ・「情報伝達」…情報伝達の重要性とその的確な実施についての意識強化
- （平成24年3月～）

採用時から反復継続的な
研修カリキュラムを構築



航空保安大学校

キャリアに応じた
教育研修

現場における
航空管制官の
意識向上

職種間の連携強化
外部講師による研修

現場官署

研修機関以外での研修等

○職種間での連携強化

- ・海外搭乗訓練を航空管制官、航空管制運航情報官、航空管制技術官の3職種合同で実施（平成23年12月～）
- ・各官署で転入者に対するオリエンテーションを全職種合同で実施（平成24年2月～）

○外部講師によるコンプライアンス研修

- ・全国の主要官署へ外部講師を派遣してコンプライアンス研修を実施（平成23年12月～）

